

宝塚大学 看護学部 教授

日高 庸晴

京都大学大学院医学研究科で博士号(社会健康医学)取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントなどを経て現職。

法務省企画の人権啓発ビデオの監修や、文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修、法務省の国家公務員研修、内閣府による省庁連絡会議で調査報告をするなど、国や自治体の事業に従事。



文部科学省選定

監修：日高庸晴

カミングアウト ～落とし穴に陥らないために～



- 全2巻 ① カミングアウトする?しない? (生徒向け)
② 児童生徒のカミングアウトに向き合う (教員向け)

自分の性的指向やジェンダーアイデンティティについてカミングアウトをするかしないかという選択は、LGBTQ+当事者の多くが直面することです。誰もが安心してカミングアウトできる社会が望まれている一方、不本意なカミングアウトやアウトティングに繋がってしまうなど、当事者をより追い詰めてしまう事態もあります。本シリーズは実際にカミングアウトをしたいと思う生徒や、それを受ける立場、また教員としてカミングアウトを受けた場合など、学校現場で起こりうるカミングアウトの事例をドラマで描きます。当事者の想いを大切にしながら、起こり得る様々な落とし穴を描きつつ、よりよい関係の構築につながるカミングアウトへのヒントを提示します。

株式会社ディー・スタイル デザイナー

岡 義英

文化服装学院卒業後、ユニフォーム会社に入社しデザイナーとしてのキャリアをスタート。後に独立し、現在まで約25年以上、ユニフォームデザインの仕事に携わっている。大切なポリシーとして、ユニフォームデザインは、企業をデザインすることと同じです。働く人が身にまとう、大切なブランドイメージのひとつとしてユニフォームをデザインする。それにより、その企業の存在価値を可視化するということにつながっていきます。お客様が抱えている課題を丁寧にヒアリングし、その企業が目指すべき方向性、本来のアイデンティティと一緒に模索・ご提示した上で、ユニフォームデザインとしてご提案する、これがD-Styleの仕事です。

